

未就学児の就学に伴う放課後等デイサービスに関する実態調査（障害児相談支援事業所用）

就学と同時に放課後等デイサービスを利用したいとの希望がある保護者から相談があった場合のことについてお聞きします。お忙しいところ申し訳ありませんが、〇月〇日までにご回答ください。

※事業所ごとに回答してください。相談支援専門員が複数いる事業所は、代表1名が回答してください。

* 必須

1. 法人名をご記入ください。 *

回答を入力してください

2. 相談支援事業所名をご記入ください。 *

回答を入力してください

3. 代表者氏名をご記入ください。 *

回答を入力してください

4. 貴事業所において、就学に伴う放課後等デイサービス利用を希望する理由として、最も多いものを教えてください。

- ☐ 集団療育（小集団を含む）を受けたい
- ☐ 個別療育を受けたい
- ☐ 放課後や長期休暇中に同年代の子と過ごし、体験の機会を広げたい
- ☐ 児童館・児童クラブを利用したいが不安である
- ☐ 児童館・児童クラブを利用したいが対象ではない（保護者が就労していない・祖父母同居など）
- ☐

その他

5. 利用を希望する活動や支援として、多いものを上位3つまで教えてください。

- ☐ 基本的日常生活動作の訓練
- ☐ コミュニケーションに課題のある児童への支援
- ☐ 創作活動（表現する喜びを体験）
- ☐ 自立に向けた支援
- ☐ 学習支援（学習教材や宿題に取り組む）
- ☐ 地域との交流（子どもの社会経験の幅を広げていく支援）
- ☐ 外遊びや自然に触れる機会の提供
- ☐ 余暇の提供（子どもが望む遊びなど）
- ☐ 保護者の相談先
- ☐ 預かりの場
- ☐

その他

6. 放課後等デイサービスを保護者が知った経緯として、多いものを上位3つまで教えてください。

- ☐ 保護者間の情報共有
- ☐ 保育園・幼稚園・認定こども園
- ☐ 医療機関
- ☐ 学校・教育機関
- ☐ 特定相談支援事業所
- ☐ 地区障がい相談支援事業所
- ☐ 発達障がい相談支援事業所
- ☐ 基幹相談支援センター
- ☐ 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所
- ☐

その他

7. 貴事業所への放課後等デイサービス利用の相談時期として、最も**多い時期**を教えてください。※児童発達支援を利用している担当ケースは含みません。

- ☐ 就学の1か月前以内
- ☐ 就学の1～3か月前
- ☐ 就学の3～6か月前
- ☐ 就学の6か月～1年前
- ☐ 就学の1年以上前
- ☐ 就学後

8. 貴事業所への放課後等デイサービス利用の相談時期として、最も**早い時期**を教えてください。※児童発達支援を利用している担当ケースは含みません。

- ☐ 就学の1か月前以内
- ☐ 就学の1～3か月前
- ☐ 就学の3～6か月前
- ☐ 就学の6か月～1年前
- ☐ 就学の1年以上前
- ☐ 就学後

9. 児童発達支援を利用している担当ケースについてお聞きします。放課後等デイサービス利用の相談時期として、最も**多い時期**を教えてください。

- ☐ 就学の1か月前以内
- ☐ 就学の1～3か月前
- ☐ 就学の3～6か月前
- ☐ 就学の6か月～1年前
- ☐ 就学の1年以上前
- ☐ 就学後
- ☐ 担当ケースなし

10. 児童発達支援を利用している担当ケースについてお聞きします。放課後等デイサービス利用の相談時期として、最も**早い時期**を教えてください。

- ☐ 就学の1か月前以内
- ☐ 就学の1～3か月前
- ☐ 就学の3～6か月前
- ☐ 就学の6か月～1年前
- ☐ 就学の1年以上前
- ☐ 就学後
- ☐ 担当ケースなし

11. 貴事業所への相談があった際、放課後等デイサービス事業所の受け入れが可能と返事をされたのは何か月前になりますか？最も**多くあてはまるもの**を1つ選んでください。

- ☐ 1か月以内
- ☐ 1～3か月以内
- ☐ 3～6か月以内
- ☐ 6か月～1年以内
- ☐ 1年以上

12. 貴事業所への相談があった際、放課後等デイサービス事業所の受け入れが可能と返事をされたのは何か月前になりますか？最も早く決まったものを1つ選んでください。

- ☐ 1か月以内
- ☐ 1～3か月以内
- ☐ 3～6か月以内
- ☐ 6か月～1年以内
- ☐ 1年以上

13. 貴事業所への相談があった際、その相談を断った、又は、利用に至らなかったことはあるか教えてください。

- ☐ ある
- ☐ ない

14. 『ある』と答えられた方にお聞きします。その理由で最も多くあてはまるものを教えてください。

- ☐ 放課後等デイサービス事業所の定員に空きがない
- ☐ 子どもの特性に合わない・特性に合った放課後等デイサービス事業所がない
- ☐ アセスメントの結果などから放課後等デイサービス利用の必要性を感じない
- ☐ 児童館・児童クラブへ行くことになった
- ☐ 相談支援事業所の新規ケース受け入れ数に空きがない
- ☐ その他

15. 『ない』と答えられた方にお聞きします。相談を進めるにあたり、難しさを感じたことがあれば教えてください。

例：遠方の事業所しか空きがなく、送迎の調整が難航した。／本人の特性には合っていないと思われたが、希望曜日と空き状況の関係で決めざるを得なかった。

回答を入力してください

16. 本市において、未就学児が就学に伴った放課後等デイサービスの新規利用を希望する際、必要な療育に繋がりにくいことがあるといったお声を聞いています。そのようなことが起こると考えられる要因として、貴事業所の考えに近いものを3つまで教えてください。

- ☐ 放課後等デイサービス事業所の数が足りない
- ☐ 特性に合った放課後等デイサービス事業所がない
- ☐ 必要以上に放課後等デイサービスを利用している子どもが多い
- ☐ 保護者の預けたい意向が強く、相談支援専門員としてもその意向に沿っている
- ☐ 地域の受け皿（児童館・児童クラブ等）の支援体制が整っているとは言えない
- ☐ 卒業を見据えて支援している放課後等デイサービス事業所が少ない
- ☐ 放課後等デイサービス事業所の新規受け入れが、より早く見学に来た子優先になっている
- ☐ その他

17. 必要な療育に繋がりにくい現状（課題）を改善するためにはどうすると良いと考えますか。

回答を入力してください